

2025-2026年度国際ロータリーのテーマ



2025-2026年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

「UNITE FOR GOOD」
よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度岡山北ロータリークラブのスローガン

元気になることをしよう

2025～2026年度 *Rotary Club of Okayama North*

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所／〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場／岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日／毎火曜日 12:30～13:30

理事・役員

2025.7～2026.6

会 長	高 畠	浩 剛
副会長	上野山	信 義
幹 事	砂 田	達 浩
副幹事	宮 井	慈 司
会 計	岸 本	
S.A.A.	磯 宅	
副S.A.A.	磯 島	

会員増強・退会防止(理事)
広報(理事)
奉仕プロジェクト(理事)
ロータリー財団(理事)
クラブ3年計画
親睦活動
プログラム
直前会長(理事)
次期会長

馬 場 幸 三
永 山 雅 己
廣 野 景 治
磯 島 芳 樹
牧 本 太 郎
杉 山 洋 真
米 林 真 樹
高 橋 剛
上野山 茂

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「就任挨拶」

副会長	上野山	剛	会員
副幹事	宮 井	宏	会員
S.A.A.	三 宅	浩	会員
副S.A.A.	磯 島	慈	会員

次回7月29日のプログラム

「内部卓話」

山 本 武 彦 会員

前回7月8日の例会記録

出席の状況

会 員 数 51名 (出席免除者0名)
出席者数 33名
欠席者数 18名
出席率 64.71%

スケジュール

7月 母子の健康月間

22日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
29日(火) 12:30～例会

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

5日(火) 12:30～例会・第2回理事役員会
12日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
19日(火) 12:30～例会・ガバナー補佐公式訪問クラブ協議会
26日(火) 12:30～例会

本日のメニュー：和食

今回のメニュー：ヘルシーランチ (洋食)

幹事報告

1. 7月のロータリーレートは1\$ = 145円です。
2. 会員名簿、週報ファイルを配付しております。
3. 財団室NEWS 7月号、地区大会の案内、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S.A.A.

高島君：第一例会（旧ひな壇慰労会）には多数の皆様がご参加くださり有難うございました。

本日は就任挨拶をさせていただきます。

上野山君：親睦活動委員会の皆様、先週の旧ひな壇慰労例会ではお世話になりました。

砂田君：本日、就任挨拶をさせていただきます。

角南君：ホームクラブ100%出席を表彰して頂きありがとうございます。今回で、表彰は20回ほどになりました。

馬場君：高島会長はじめ、ひな壇の皆様1年間楽しみにしています。

今年度、会員増強委員長を務めます。皆様ご協力よろしくお願いします。

妹尾君：結婚記念日のお花をありがとうございます。

滝沢君：結婚記念日のお花をありがとうございます。



出席報告



スマイル報告

委員会・活動報告



奉仕プロジェクト常任委員長 廣野 景治 会員

毎年開催されている岡山北ロータリークラブ旗ミニバスケットボール大会が、今年度はガバナー方針の「インパクトのある青少年奉仕事業の開催」ということで「第2690地区 第10グループロータリークラブ杯 ミニバスケットボール大会」として第10グループ(岡山旭川・岡山中央・岡山北・岡山南・玉野ロータリークラブ)の共催事業として、9月14日(日)、15日(月・祝)に開催されることになりました。

昨年の様子



開会式 優勝旗返還



閉会式 優勝旗授与
駅家ミニバスケットボールクラブ



ポリオ啓発





2025-2026年度、岡山北ロータリークラブは「元気になるロータリークラブ」として、国際ロータリークラブメッセージの「UNITE FOR GOOD（良いことのために手を取り合おう）」の精神のもと、活動してまいります。

クラブ運営方針「元気になることをしよう」

そして「元気になるロータリークラブ」でありたいと思います。

本年度の具体的な取り組み

1. クラブの活性化と奉仕活動:

- 「クラブ活性化推進計画委員会」を中心に、クラブが元気になるための活動を推進
- クラブの3年計画を策定し、長期的な視点を持ってクラブ運営に取り組みます
- 第10グループで、インパクトのある青少年奉仕事業を共同で行う5つのロータリークラブが「国際ロータリー2690地区第10グループミニバスケットボール杯」を共催

2. 会員増強:

- 2690地区の最重要課題と位置付ける会員増強に注力します
- クラブの魅力を高め、入会しやすい環境を整備します
- 会員一人ひとりがアンバサダーとなり、会員増強を推進します
- 会員増強退会防止に必要なあらゆる手を尽くすための一つとしてクラブ定款・細則の内容を見直し、衛星クラブの設立が出来るよう準備を行います

3. 国際ロータリーの指針に沿った活動:

- 国際ロータリー会長が提唱する「革新」「継続性」「パートナーシップ」の3つの柱を意識し、クラブ運営に取り組みます
- 地区の重点目標である、クラブ優秀賞の達成、インパクトのある青少年奉仕活動の実践、公共イメージの向上、ロータリー財団・米山記念奨学会への支援、ロータリーカードの加入促進、地区大会・国際大会への参加を推進します
国際大会へは多くの皆様に参加してもらえるよう例会を取り消しと致しました
- 例会の内容を充実させ、会員同士の交流を深めます
- 例会取消日を利用して火曜日例会の他クラブへ訪問致します
- 地域社会のニーズに応じた奉仕プロジェクトを企画・実行します
- 若い世代や女性など、多様な人材の入会を促進します
- 他の団体との連携を強化し、奉仕の輪を広げます
- クラブ活性化推進計画委員会を設置し、具体的な計画を策定・実行
- 「革新」「継続性」「パートナーシップ」の3つの柱を意識した活動
- 会員増強のための具体的なアイデアを募ります

クラブの魅力の発信、入会しやすい環境の整備、会員主導の勧誘活動、若手・女性会員の活躍支援が行えるよう体制を整備致します

特に、3年計画の策定は、クラブの将来を見据えた重要な取り組みとなりますので、しっかりと時間をかけて責任感をもって取り組みたいと思います

会員の皆様が楽しく、やりがいを感じられるような「元気になるロータリークラブ」でありたいと願います

一年間どうぞよろしくお願い致します。



皆さんこんにちは。本年度幹事を拝命いたしました砂田です。いよいよ2025-26 高畠会長年度がスタートしました。幹事のご指名をいただき、身の引き締まる思いとその重責を感じつつ、十分な準備もできず慌ただしい中でのスタートとなってしまう、一年間を通して幹事が務まるか不安でいっぱいですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

さて、私は2012-13米林会長年度の3月に入会させていただきましたので現在入会13年目になります。年数だけが経ちロータリー活動を積極的に行ったという記憶がありません。そんななか高畠会長から幹事のお話をいただきました。それは、令和5年12月9日の高畠会長の結婚報告会の後でした。橋田会員と西口の居酒屋で飲んでいた時に橋田会員の携帯電話が鳴り「会場に財布を忘れていますよ」と連絡があり取りに行きました。そして帰って来た時に、橋田会員が「高畠さんがさこちゃんに幹事をしてもらえないか?」と言っていたよ。」と言われました。その時は「え!マジ?」、「無理無理」、「俺には無理」と思っていました。その1週間後ぐらいだったと思いますが高畠会長から電話があり、是非幹事をお願いしたいと言われました。本来なら「はい。喜んで」とお引き受けをしなければならないのですが、丁度その頃父親の癌がみつきり年末に手術だったのと、年末から3月15日までと5月はロータリー活動を全うできる自信がなかったので、「少し考えさせてください。」と返事をしました。数日後、高畠会長から電話があり、改めて「幹事をお願いします。」と言われました。何事も経験、自分の不得意な部分でもあり勉強になると思い、幹事を務めさせていただく事にしました。

幹事は、日々のクラブ運営の要であり、会長を補佐する立場なのですが、3月の第2回被選理事会の資料の年間行事予定表・予算書は全て高畠会長に作ってもらい、最初からご迷惑をかけてしまい申し訳ございませんでした。今後はこの様な事が無いよう事前準備をしっかりと行います。また、事務局との確認のやり取り、6RC幹事会、県南16RC幹事会などなど、まだ始まったばかりですが、幹事ってこんなに大変なん!と思っています。

本年度、フランチェスコ・アレツォRI会長のメッセージは「よいことのために手を取りあおう。」です。また、ロータリーのビジョン声明は「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指しています」であり、特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まると話されています。私もそのことを胸に幹事業に邁進してまいりますので、皆様、ご協力をお願いいたします。

そして、高畠会長のスローガンは「元気になることをしよう」です。継続性とビジョンを持ってクラブが元気になるための取組として、第10グループのクラブ合同でのインパクトのある青少年奉仕事業の実施、例会取消日を利用したの火曜日例会の他クラブへの訪問、重点課題としての会員増強・退会防止に繋がる衛星クラブの設立など柔軟で新しいアイデアを取入れ積極的に行動されていますので、高畠会長の足を引っ張る事の無いよう精一杯お手伝いができるよう努めてまいります。

会員の皆様方がクラブを楽しんでいただくためにも、まずは私自身がしっかりとロータリーを楽しみ、理解し、今までできていなかった分を取り返すぐらいの思いで活動してまいります。そして、得た経験、知識を知恵としてクラブの運営に生かしていきたいと考えております。

幹事として会員の皆様にとって楽しく、記憶に残る年度となるよう1年間精一杯務めてまいりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。